

# Museum 通信

ミュージアム  
博物館・鬼の館・利根山光人記念美術館からのお知らせ

## 博物館

### 企画展「水沢鉱山」

江戸、明治、大正期の日本の発展と近代化を陰で支えた水沢鉱山。本企画展では、当時の日本社会と水沢鉱山がどのようにつながっていたのかをご紹介します。

■とき：12月18日(土)～令和4年3月6日(日)

■ところ：同館和賀分館

#### 水沢鉱山とは

水沢鉱山は江戸時代初期から資源の採掘・営業が始まった鉱山で、旧盛岡藩の中では最も長く生産を続けた銅山として有名です。記録によると、1671年から1682年までの12年間で出荷された銅の量は実に685tにも上り、その1割を盛岡藩に税として納め、残りの620tほどを積み出していきます。これは、ひらた船の積載量に換算すると280艘分にもなります。採掘された銅は最終的には長崎に渡り、中国やオランダなどへ輸出されていたようです。

時代が明治に移ってからは、当時「鉱山王」と呼ばれた古河市兵衛の「古河鉱業」に経営が移ります。



製錬所の跡地

このころから日本でも電信電話事業が始まり、電線用として銅の需要が急速に伸びてきたことを背景にさらなる発展を遂げました。最盛期にはこの鉱山で働く人たちがその家族など、3000人ほどが鉱山近辺で生活しており、その人たちのために小学校や郵便局、発電所、購買所なども作られていたそうです。

### 12月の休館日

6日(月)、13日(月)、20日(月)、27日(月)～31日(金)

※12月から翌年3月までの期間は、月曜日と祝日の翌日が定休日になります。

※年始は1月5日(水)からの開館です。

## 鬼の館



### 「鬼剣舞体験」

刀剣舞の狂いを練習して、衣装を着けて発表します。発表の日は自分で色を塗った鬼剣舞の面を付けて踊ります。

■とき：12月26日(日)9時30分～12時、令和4年1月8日(土)、10日(月)祝、15日(土)、22日(土)10時～12時(全5回)

■発表日：1月29日(土)10時～

■対象：4歳～小学生

■定員：8人(先着順)

■参加料：500円(お面材料代)

■申し込み：12月7日(火)10時から電話

で同館へ  
※1月10日(月)祝、15日(土)11時～12時に同講座の見学と鬼剣舞の体験会を開催します。申し込みは不要です。鬼剣舞を見学してみたい、ちよっとだけ踊ってみたいと思っている人は、直接鬼の館にお越しください。



### 12月の休館日

6日(月)、13日(月)、20日(月)、27日(月)～31日(金)

※12月から翌年3月までの期間は、月曜日と祝日の翌日が定休日になります。

※年始は1月5日(水)からの開館です。

## 利根山光人記念美術館



### つながる太陽プロジェクト・太陽の絵完成共同作品展

太陽の画家と呼ばれる利根山光人画伯にちなみ、プロジェクト参加者が描いた太陽の絵をつなげて展示します。

■とき：12月中旬～

■ところ：hokko

### 冬季休館

12月1日(水)から翌年3月31日(木)までの冬期間は休館となります。

### 耳ヨリ情報

3館で利用できる共通観覧券(表③)をぜひご利用ください(発行日から1年間有効)。また、北上市消防団員カードをお持ちの人や市内、奥州市・金ケ崎町・西和賀町在住の小中学生は観覧料無料です!

表③	区分	共通観覧券
	一般	700円
	高校生	300円
	小中学生	200円

■鬼の館(和賀町岩崎16-131 ☎73-8488)  
開館時間…9時～17時(入館は16時30分まで)  
観覧料…表①のとおり

■利根山光人記念美術館(立花15-153-2 ☎65-1808)  
開館時間…10時～16時(入館は15時30分まで)  
観覧料…表②のとおり

■博物館  
博物館本館(立花14-59 ☎64-1756)  
開館時間…9時～17時(入館は16時30分まで)  
観覧料…表①のとおり  
博物館和賀分館(和賀町横川目11-160)  
開館時間…10時～16時(入館は15時30分まで)  
観覧料…無料

表①	区分	個人	団体(20人以上)
	一般	500円	400円
	高校生	240円	180円
	小中学生	170円	120円

表②	区分	個人	団体(20人以上)
	一般	300円	180円
	高校生	120円	80円
	小中学生	60円	40円